

森林環境譲与税を活用した 取組事例集 2023



森林環境税と森林環境譲与税

- ◆ 森林を守り、育て、活かす、35市町の取組
- ◆ 市町を支援する県の取組
- ◆ 森林環境税と森林づくり県民税

静岡県

はじめに

森林環境税は、パリ協定の枠組みの下における温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設され、令和6年度から課税開始となります。

一方、森林環境譲与税は、令和元年度から譲与が開始されており、令和4年度は、静岡県及び県内市町に総額約15億円（市町約13.2億円、県約1.8億円）が譲与されています。

目次

はじめに	1
森林環境税及び森林環境譲与税について	3
森林環境譲与税の譲与基準及び譲与額（令和4年度市町分）	4
森林環境譲与税の活用実績（市町分）	5
森林環境譲与税の活用区分別実績（市町分）	6

市町の取組

1. 森林整備

浜松型林齢平準化促進事業（浜松市）	7
熱海市ナラ枯れ対策事業費補助金（熱海市）	8
人工林及び竹林における市町村森林経営管理事業（三島市）	9
森林環境整備方針の策定・林道整備プログラムの作成（富士宮市）	10
ぬくもりのある森林づくり事業（島田市）	11
林地台帳の整備（磐田市）	12
事前アンケートの結果に基づく意向調査の実施（藤枝市）	13
高精度森林情報を活用した森林経営管理制度の推進（御殿場市）	14
防災インフラ施設保全のための森林整備（袋井市）	15
森林経営管理制度に基づく経営管理権集積計画の作成（下田市）	16
林地保全委託事業（土砂流出防止柵）（裾野市）	17
荒廃した竹林や広葉樹林等の整備（湖西市）	18
公道沿いの危険木伐採（御前崎市）	19
重要インフラ保全のためのモデル林整備（菊川市）	20
市有林の整備及び搬出材の地域利用（伊豆の国市）	21
松くい虫防除のための薬剤散布等の実施（東伊豆町）	22
松くい虫被害防止のための樹幹注入等の実施（南伊豆町）	23
森林整備の促進のための意向調査の実施（松崎町）	24
森林経営管理制度に基づく意向調査（西伊豆町）	25

譲与開始以降、市町においては、森林整備をはじめ木材利用や普及啓発等の取組を着実に推進しており、県は森林整備等を行う市町の支援を実施しています。

この事例集は、令和3年度から令和4年度に実施された森林環境譲与税を活用した取組について、とりまとめました。

各地域の取組事例も参考にしながら、森林環境譲与税を地域の森林・林業の課題の解決に向け、効果的に活用し、地域住民の方々や県民のみなさまに成果や効果を実感いただけるよう、取組が進むことを期待しています。

Contents

林道における災害未然防止対策事業（函南町）	26
町有林管理モデル事業（清水町）	27
避難路に隣接する森林における市町村森林経営管理事業（長泉町）	28
防災機能向上のための市町村森林経営管理事業（小山町）	29
海岸防災林における森林整備（吉田町）	30
森林経営管理制度に基づく市町村森林経営管理事業（川根本町）	31
林道等の災害復旧（森町）	32

2. 人材育成・確保

森林環境譲与税関連事業に係る専門員の雇用（伊豆市）	33
---------------------------	----

3. 木材利用

地元間伐材（SGEC 認証材）の活用促進（沼津市）	34
学校周辺の森林整備の搬出材を利用したベンチの製作（伊東市）	35
公共施設の木質化（焼津市）	36
子育て支援施設の木質化（河津町）	37

4. 普及啓発

オクシズ材（静岡市産材）の活用促進（静岡市）	38
富士ヒノキ製玩具の贈呈（富士市）	39
おかえり「森林」総合対策事業（森林・木材を学ぶ事業）（掛川市）	40
勝間田城跡周辺の森林を整備（牧之原市）	41

県の取組

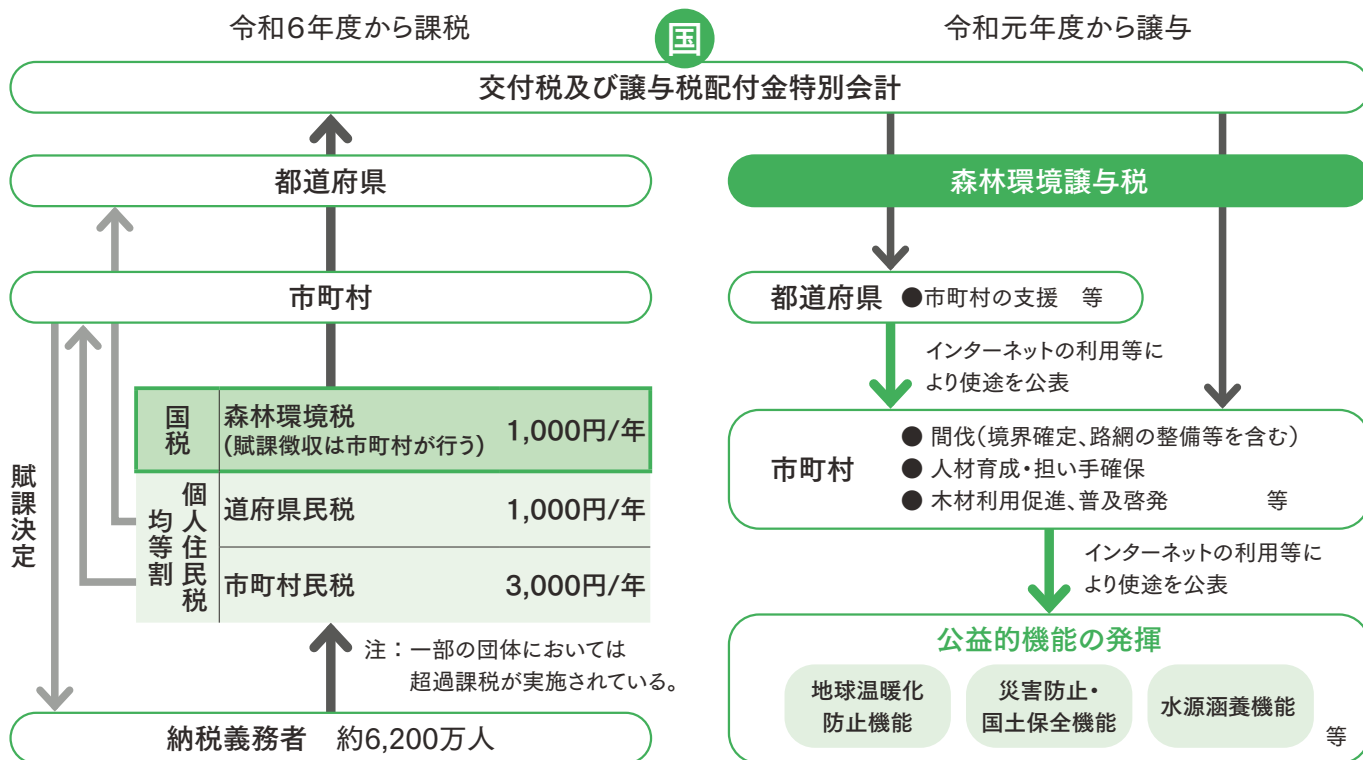
ふじのくに森林整備アドバイザーの派遣	42
林業の担い手の確保・育成	43
森林環境教育の推進	44

その他

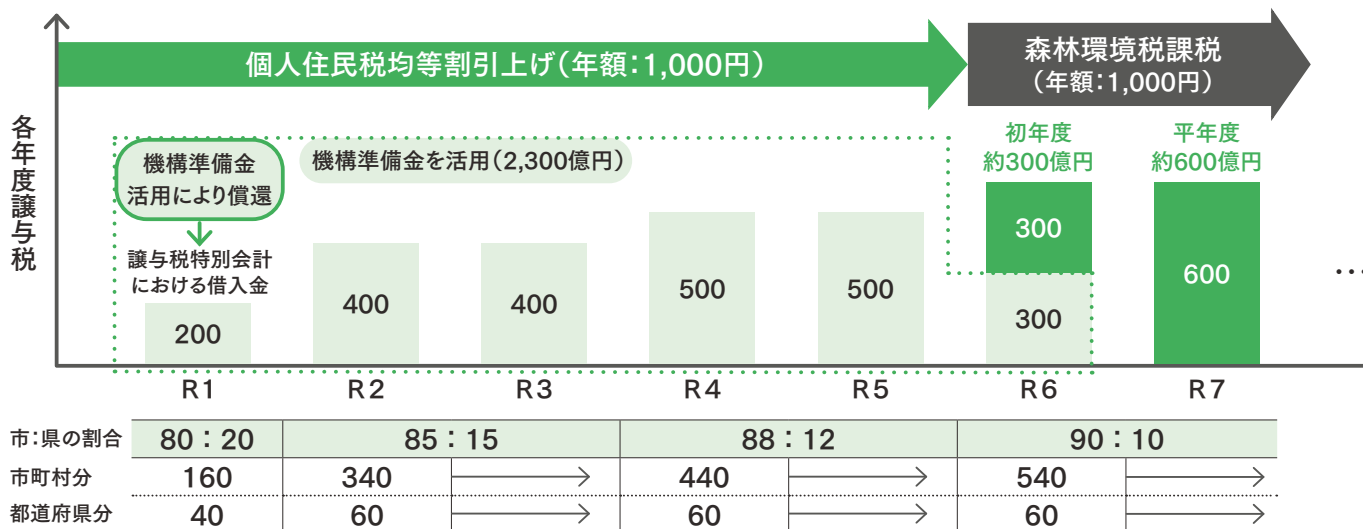
森林環境税と森林づくり県民税	45
----------------	----

森林環境税及び森林環境譲与税について

- ・パリ協定の枠組みの下におけるわが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため、森林整備等に必要となる地方財源を安定的に確保する観点から、森林環境税及び森林環境譲与税が創設されました。
- ・森林環境譲与税は既に令和元年度から譲与が開始されており、各市町で地域の実情に応じた森林整備等に活用されています。また、森林環境税は令和6年度に課税開始となります。



- ・市町村の体制整備の進捗に伴い、徐々に増加するように譲与額を設定
- ・令和6年度までの間は、地方公共団体金融機構の公庫債権金利変動準備金を活用
- ・森林整備を実施する市町村の支援等を行う役割に鑑み、都道府県に対して総額の1割を譲与



譲与基準

- 市町村分
 - 50%:私有林人工林面積
 - 20%:林業就業者数
 - 30%:人口
- 都道府県分
 - 市町村と同じ基準

※以下のとおり林野率による補正

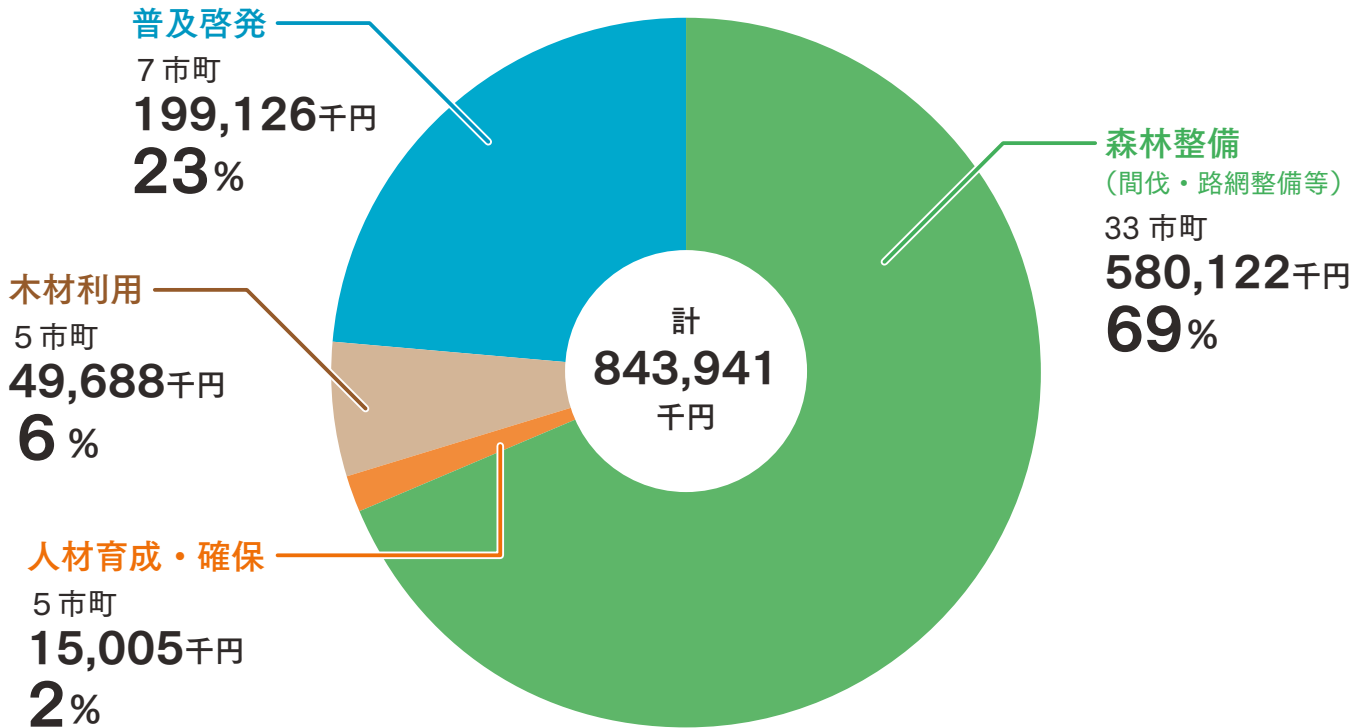
林野率	補正の方法
85%以上の市町村	1.5倍に割増し
75%以上 85%未満の市町村	1.3倍に割増し

森林環境譲与税の譲与基準及び譲与額（令和4年度市町分）

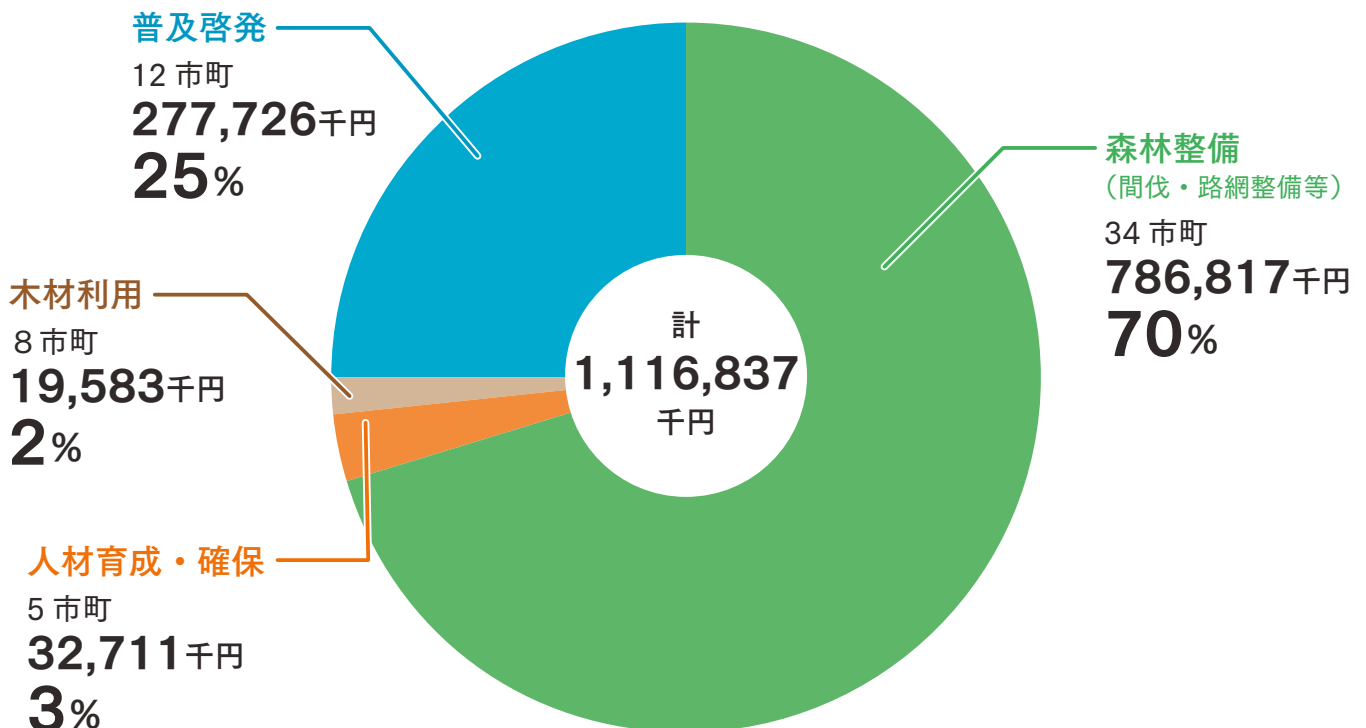
市町名	私有林人工林面積 (ha)	林業就業者数 (人)	人口 (人)	譲与額 (千円)
35 市町	2020 農林業センサス	国勢調査 (R 2)	国勢調査 (R 2)	9 月期・3 月期 計
静岡市	41,143	299	693,389	283,310
浜松市	56,524	456	790,718	325,712
沼津市	3,215	44	189,386	36,244
熱海市	786	1	34,208	6,184
三島市	1,201	12	107,783	16,772
富士宮市	11,631	92	128,105	63,136
伊東市	2,615	14	65,491	17,066
島田市	12,456	85	95,719	61,322
富士市	6,613	86	245,392	58,820
磐田市	984	15	166,672	22,686
焼津市	215	4	136,845	15,566
掛川市	6,143	34	114,954	36,184
藤枝市	5,692	28	141,342	36,662
御殿場市	2,620	49	86,614	24,352
袋井市	278	0	87,864	10,060
下田市	1,962	55	20,183	18,054
裾野市	3,962	27	50,911	21,640
湖西市	597	6	57,885	8,792
伊豆市	7,684	86	28,190	46,674
御前崎市	323	4	31,103	4,842
菊川市	838	9	47,789	8,924
伊豆の国市	1,823	5	46,804	11,328
牧之原市	1,817	2	43,502	10,530
東伊豆町	1,019	8	11,488	5,550
河津町	1,834	7	6,870	9,198
南伊豆町	2,038	31	7,877	13,604
松崎町	2,410	18	6,038	13,048
西伊豆町	2,623	9	7,090	14,368
函南町	1,846	7	36,794	10,642
清水町	40	0	31,710	3,442
長泉町	393	5	43,336	6,486
小山町	2,051	25	18,568	11,982
吉田町	5	0	28,919	3,040
川根本町	11,785	53	6,206	63,688
森町	6,374	22	17,457	24,972
計	203,540	1,598	3,633,202	1,324,880

森林環境譲与税の活用実績（市町分）

令和3年度の活用実績



令和4年度の活用実績(速報値)



森林環境譲与税の活用区分別実績（市町分）

市町名	森林整備 (間伐・路網整備等)		人材育成・確保		木材利用		普及啓発	
	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4
静岡市	★	★	★	★	★		★	★
浜松市	★	★	★	★			★	★
沼津市	★				★	★	★	
熱海市	★	★						
三島市	★	★					★	★
富士宮市	★	★						
伊東市	★	★						★
島田市	★	★				★		★
富士市	★	★	★	★		★	★	★
磐田市		★						
焼津市	★	★			★	★		★
掛川市	★	★	★	★	★	★		★
藤枝市	★	★						
御殿場市	★	★					★	★
袋井市	★	★						
下田市	★	★						
裾野市	★	★						
湖西市	★	★						
伊豆市	★	★	★	★				
御前崎市	★	★						
菊川市	★	★				★		
伊豆の国市	★	★			★			
牧之原市	★	★						
東伊豆町	★	★						
河津町		★				★		
南伊豆町	★	★						
松崎町	★	★						
西伊豆町	★	★						
函南町	★	★						
清水町	★	★						
長泉町	★	★						★
小山町	★	★						
吉田町	★	★						
川根本町	★	★					★	★
森町	★	★				★		★
市町数	33	34	5	5	5	8	7	12
金額（千円）	580,122	786,817	15,005	32,711	49,688	19,583	199,126	277,726
シェア（%）	69%	70%	2%	3%	6%	2%	23%	25%

浜松型林齢平準化促進事業

事業の概要

- ・本市森林の林齢構成は、12 齢級（56～60 年生）を筆頭に 11～15 齢級の割合が多い。
- ・21 齢級（100 年生）以上の森林も存在し、資源量が豊富なことが強みだが、若年生の森林が少ないことが課題
- ・この偏った林齢構成を平準化するため、主伐・再生林の推進を目的に主伐された木材の搬出費用を支援

【事業名】 浜松型林齢平準化促進事業

【発注形態等】 補助

【事業費】 R 4 23,442 千円 ※全額譲与税

R 3 38,130 千円 ※うち譲与税 34,817 千円

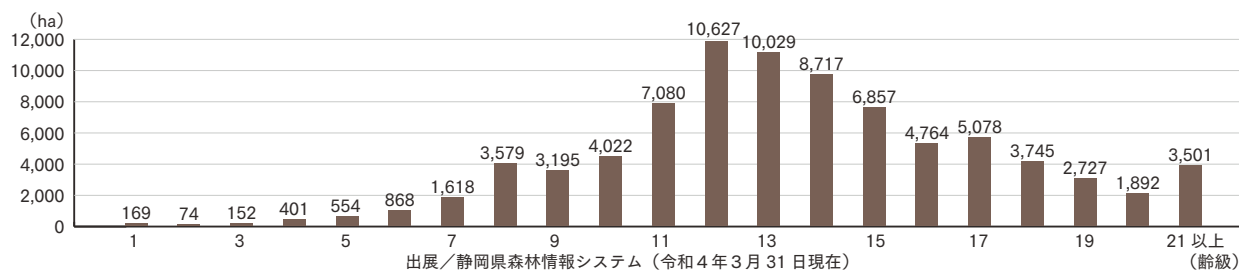
【実績】 R 4 皆伐面積：32.19ha、材積：16,750m³

R 3 皆伐面積：37.53ha、材積：19,065m³

事業スキーム

- ・補助対象者／森林組合及び森林所有者等
- ・補助対象事業／FSC 森林で主伐を実施し道路端まで搬出した木材を県内の原木市場、製材工場等の木材加工施設等へ搬送する事業
- ・補助額／搬送する伐採木の材積量：2,000 円/m³以内

[浜松市の林齢構成]



林齢平準化及び木材生産量増加を目的に実施した主伐現場

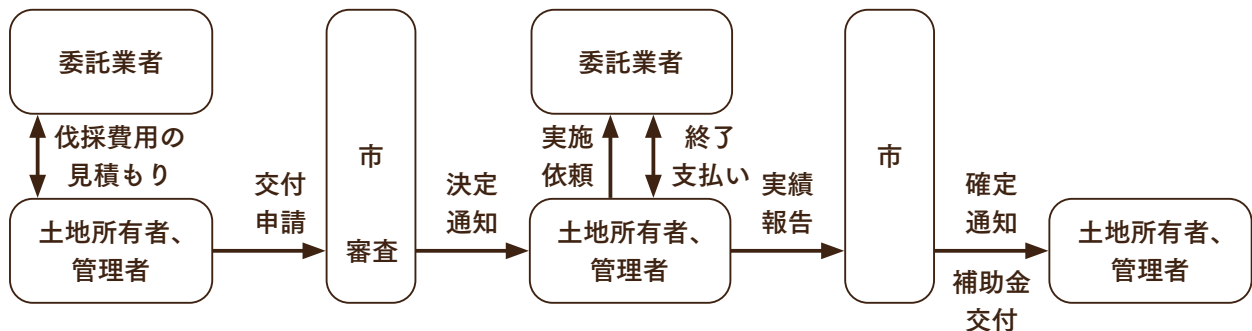
熱海市ナラ枯れ対策事業費補助金

事業の概要

- ・数年前から拡大している「ナラ枯れ」被害の拡大防止、ナラ枯れにより枯損し倒木や落枝等の危険性の高い危険木による人身又は家屋等への被害の防止を目的として実施
- ・危険木の伐採及び病害虫の駆除を実施する者に対して補助金を交付

[事業名]	熱海市ナラ枯れ対策事業費補助金
[発注形態等]	補助
[事業費]	R4 1,920千円 ※全額譲与税
	R3 2,687千円 ※全額譲与税
[実績]	R4 12件 23本伐採
	R3 14件 38本伐採

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・土地所有者等からの問い合わせがあった際に、写真から判断しづらい場合は、現地確認を行った。
- ・危険木の伐採だけでなく被害の拡大を防ぐため、病害虫の駆除として薬剤散布等を行った。



ナラ枯れした樹木（全体）



ナラ枯れ被害の状況（拡大）

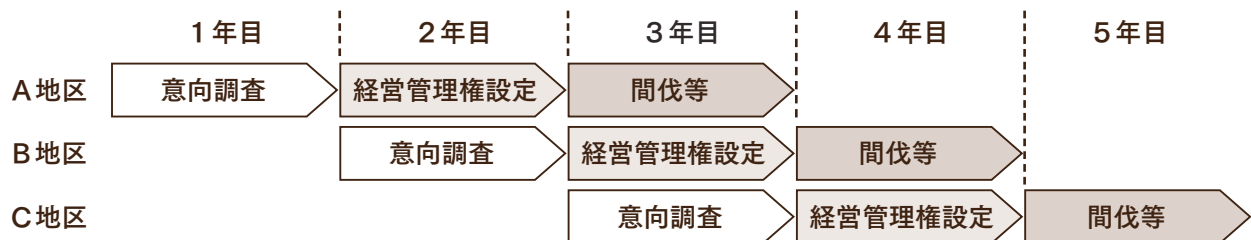
人工林及び竹林における 市町村森林経営管理事業

事業の概要

- ・市は非経済林について、森林経営管理制度に基づく間伐等を進めていく方針
- ・森林経営計画樹立の予定がない森林等について、今後の整備の方針や順序を示しながら計画的に実施

[事業名]	森林環境管理事業		
[発注形態等]	委託・直営		
[事業費]	R4	16,738千円	※全額譲与税
	R3	12,597千円	※全額譲与税
[実績]	R4	意向調査 11.02ha	経営管理権の設定 7.63ha 市町村森林経営管理事業（間伐） 8.67ha
	R3	意向調査 12.40ha	経営管理権の設定 10.57ha 市町村森林経営管理事業（間伐） 1.89ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・経営管理権を設定した森林では人工林の間伐のほか、竹林の皆伐を実施
- ・市内森林の優先順位を明確にしたうえで、毎年度計画的に意向調査・管理権設定・間伐を実施



竹林皆伐前



竹林皆伐後

森林環境整備方針の策定・ 林道整備プログラムの作成

事業の概要

- ・令和2年度に計画的な森林整備を行うための基礎調査を実施
- ・基礎調査の成果をもとに、令和3年度に森林環境整備方針を策定
- ・あわせて林道整備プログラムを作成し、ソフト・ハードの両面で計画的・効果的な森林整備を実施

〔事業名〕 森林環境整備方針・林道整備プログラムの策定

〔発注形態等〕 委託

〔事業費〕 R3 森林環境整備方針の策定 10,857千円 ※全額譲与税
R3 林道整備プログラムの作成 3,267千円 ※全額譲与税

〔実績〕 R3 森林環境整備方針及び林道整備プログラムの策定 1式

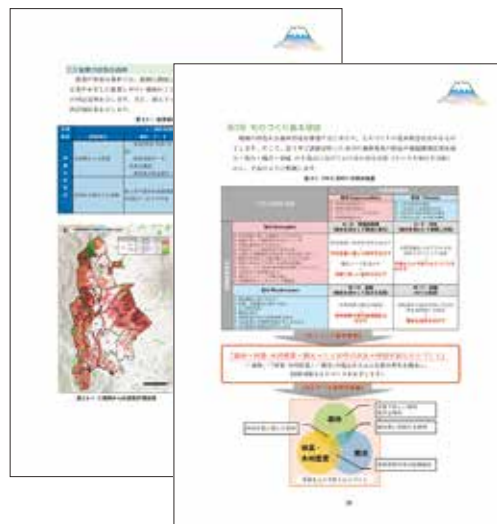
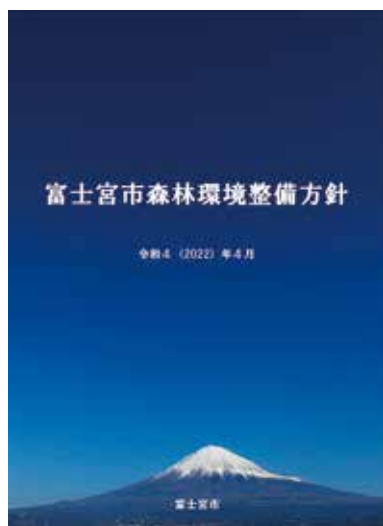
〔その他〕 R2 基礎調査を実施

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・方針等の策定のために必要な情報の収集や分析を客観的な評価で行った上で、事業者からの聞き取りを行った結果、市の把握していない課題を明確化することができた。



富士宮市森林環境整備方針（市ホームページで公表）

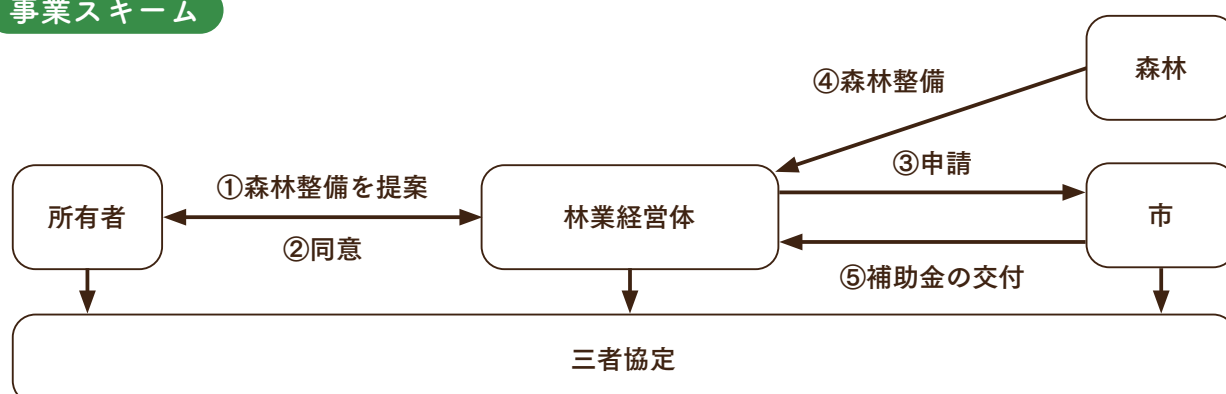
ぬくもりのある森林づくり事業

事業の概要

- ・水源涵養、土砂流出防備等の災害の防止、その他森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、間伐に対して助成し、森林整備の促進を図る。
- ・10年以上手入れがされていない人工林が補助対象

[事業名]	ぬくもりのある森林づくり事業		
[発注形態等]	補助		
[事業費]	R4	14,014千円	※全額譲与税
	R3	9,461千円	※全額譲与税
[実績]	R4	間伐 24ha	
	R3	間伐 27ha	

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・市内森林を非経済林、経済林にゾーニングし、補助要件や補助率に反映させた。
- ・林業経営体、所有者、市で三者協定を締結することで、適正な森林管理を図る。



整備前



整備後

林地台帳の整備

事業の概要

- ・平成 24 年作成の林地台帳の所有者データを更新
- ・林地台帳の整備による所有者の明確化と併せて森林計測による森林の見える化を進めており、今後実施予定の森林整備事業に活用予定

[事業名] 森林整備推進事務

[発注形態等] 委託

[事業費] R 4 2,772 千円 ※全額譲与税

[実績] R 4 林地台帳の所有者データの更新

事業スキーム



(参考) 林地台帳制度の概要

●林地台帳とは

一筆の森林の土地ごとに以下の①～④の事項を記載した台帳

- ①その森林の土地の所有者の氏名又は名称及び住所
- ②その森林の土地の所在、地番、地目及び面積
- ③その森林の土地の境界に関する測量の実施状況
- ④そのほか農林水産省令で定める事項

記載事項	所在	地番	地目	面積 (ha)	林小班	登記簿上の所有者				現に所有している者、所有者とみなされる者				境界に係る測量の実施状況				森林経営計画の認定状況			公益的機能別指定森林等			
						氏名・名称	住所	共有	登記年月日	氏名・名称	住所	共有	記載事由	開始年月日	記載年月日	地籍調査		境界の確定に資する測量		認定の有無	認定者の種類	認定年月	区分	施策方法等
																済・未済	実施年月日	済・未済・一部実施	実施年月日					

※着色部分は法に定める事項、その他は省令等で定める事項

●林地台帳地図とは

林地台帳に記載した地番の位置を示す森林の土地に関する地図

●公表

各市町林地台帳担当の窓口では、森林の所在を特定して閲覧申請を行うことにより、所有者の氏名や住所の印字されていない文書や地図の「閲覧」を行うことができる。

事前アンケートの結果に基づく 意向調査の実施

事業の概要

- 令和3年度までは、森林所有者に今後の維持・管理についての事前調査（アンケート調査）を実施
- 令和4年度は、事前調査の結果をもとに、集約化が見込める地区を選定し、意向調査及び現地調査を実施

〔事業名〕 森林経営管理制度に基づく意向調査

〔発注形態等〕 委託

〔事業費〕 R4 4,510千円 ※全額譲与税

R3 3,938千円 ※全額譲与税

〔実績〕 R4 意向調査 25ha（14名、40筆）

現地調査 24ha（22名、98筆）

所有者説明会の開催 2回

R3 事前調査 403ha（277名、1,134筆）

所有者説明会の開催 3回

事業スキーム



工夫・留意した点

- アンケート調査を2年実施。1年目は広範囲に行い、2年目は1年目の調査結果に基づき施業の集約化が見込める地区を対象に追加調査を実施した。
- 調査票回答期間中に、所有者説明会や個別相談会を開催し、森林所有者の森林への意欲・関心の向上及び調査票の回答率向上に努めた。



森林所有者向け説明会



個別相談会

高精度森林情報を活用した 森林経営管理制度の推進

事業の概要

- ・小規模の森林所有者が多く、森林整備が進んでいない地域で令和2年度に森林所有者への意向調査を実施
- ・調査区域を着実に森林整備につなげるため、高精度森林情報（3次元点群データを解析）を活用して森林の経営管理の方向性を示した経営プランを作成し、所有者に提示して、説明会を実施

[事業名] 御殿場市森林経営管理事業

[発注形態等] 委託

[事業費] R 4 2,000千円 ※全額譲与税

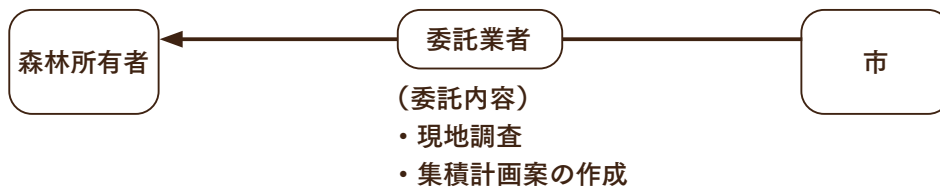
[実績] R 4 経営管理制度説明会を実施 1回

経営管理集積計画案の作成 20ha

R 2 意向調査を実施 44ha

[その他] 令和5年度は隣接する15haの森林の集積計画案を作成し、令和4年度分と合わせて35haの集積計画を策定予定

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・県と連携し、高精度森林情報を活用したことで、整備可能な人工林の区域を容易に抽出することが可能となった。
- ・森林所有者に高精度森林情報をわかりやすく提示したことで、視覚的・数値的に説明ができ、森林整備への理解の促進につながった。



森林所有者向け説明会



解析結果をまとめた森林経営管理の方向性（経営プラン）

防災インフラ施設保全のための 森林整備

事業の概要

- ・市地域防災計画に記載のある「指定避難所、緊急輸送路、要配慮者利用施設」周辺の森林調査を行った結果に基づき、面的な森林整備を実施
- ・整備優先度の高いエリアについて、複数年の整備計画を策定し、計画的に整備を実施

〔事業名〕 防災インフラ施設保全森林整備事業業務委託

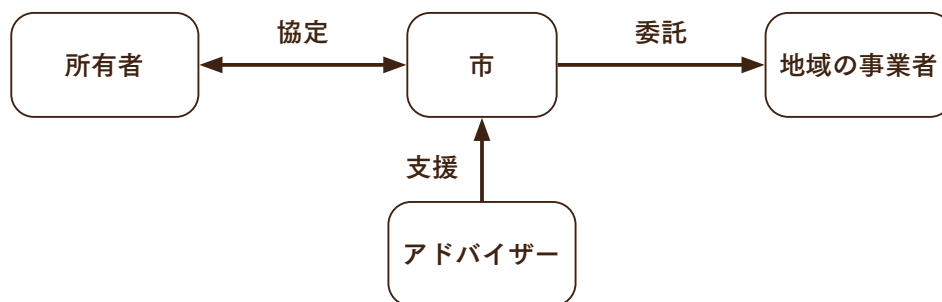
〔発注形態等〕 委託

〔事業費〕 R4 3,644千円 ※全額譲与税

〔実績〕 R4 間伐 0.3ha

R3 計画策定業務 1.82ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・市の防災マップや航空写真を活用し、保全対象森林を抽出した。
- ・ふじのくに森林整備アドバイザーの支援を受け、現地確認等を行ったうえで対象森林を絞り込んだ。



現地での確認作業



整備後

森林経営管理制度に基づく 経営管理権集積計画の作成

事業の概要

- ・市は私有林の人工林について、各地域の現状を踏まえ、森林所有者の経営管理状況を把握し、森林経営管理法に基づく森林の整備を進めていく方針
- ・令和3年度に意向調査を行った地域について、令和4年度に現地の調査を実施し、経営管理権集積計画を作成

[事業名] 下田市経営管理権集積計画作成業務

[発注形態等] 委託

[事業費] R 4 3,960 千円 ※全額譲与税

[実績] R 4 現地調査 11.28ha

R 3 参考 意向調査 267ha 所有者説明会の開催 2回

(うち経営管理を委ねたいとした回答 約 95ha)

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・R 2 に作成した全体計画に基づき、市内で最も優先順位の高い地区について意向調査を実施し、その回答をもとに現地調査を行った。
- ・意向調査、集積計画作成、意向調査回答者への返信を業者へ委託することにより、マンパワー不足を解消



森林所有者向け説明会



現地調査箇所の林内状況

林地保全委託事業（土砂流出防止柵）

事業の概要

- ・市が行う間伐補助事業の施行地で、切り捨て間伐と併せて、土砂流出防止のため、間伐による発生材を利用した木柵を設置
- ・林地残材の活用、表土の安定により、山地災害対策としての間伐の効果をさらに高めることが狙い。

〔事業名〕 林地保全委託事業（土砂流出防止柵）

〔発注形態等〕 委託

〔事業費〕 R 4 968 千円 ※全額譲与税

〔実績〕 R 4 設置数 282 基

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・間伐補助事業には国の「美しい森林づくり基盤整備交付金」を活用。安定的財源により、計画的・継続的に実施していく。



整備前



整備後

荒廃した竹林や広葉樹林等の整備

事業の概要

- ・ 荒廃森林が増え、土砂災害の発生等の危険性が高まっていることから、令和2年度に新たに補助事業を創設
- ・ 令和3年度から制度の運用を開始
- ・ 令和3年度は、自治会等から要望のあった森林について、計0.2haの森林整備を実施

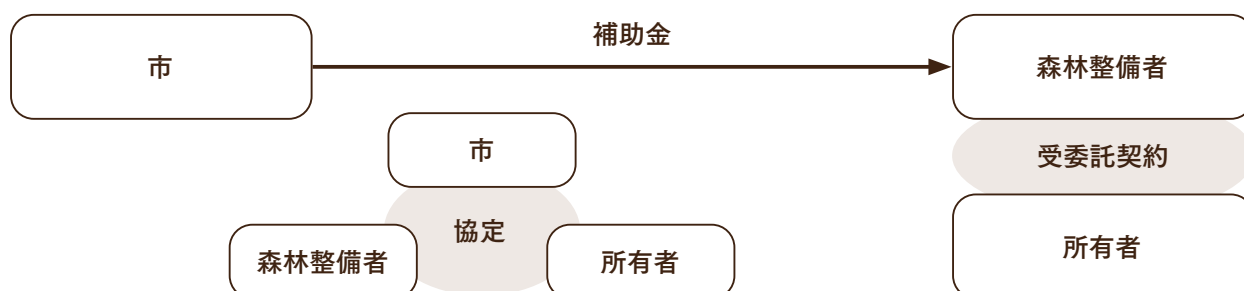
[事業名] 湖西市森林保護整備事業

[発注形態等] 補助

[事業費] R3 3,444千円 ※全額譲与税

[実績] R3 竹林整備 0.13ha 広葉樹整備 0.07ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・ 補助事業の創設や運用にあっては、ふじのくに森林整備アドバイザーや県農林事務所の支援を受けた。
- ・ 整備後の現場は、報道機関等に積極的にPRした。

〈R3 湖西市白須賀地区〉



整備前



整備後

公道沿いの危険木伐採

事業の概要

- ・公道に隣接している森林のうち、道路へ倒木するおそれのある立木を伐採することで、道路の寸断等の発生を予防
- ・事業箇所の計画にあっては、地元の町内会と連携して実施

〔事業名〕 危険木伐採（剪定）事業

〔発注形態等〕 委託

〔事業費〕 R4 1,000千円 ※全額譲与税

〔実績〕 R4 危険木伐採 4箇所

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・対象範囲を絞り込むことで、より緊急性の高いエリアから実施している。
- ・地元の町内会と調整しながら、身近な森林の整備を行うことで、事業効果を実感してもらうことができた。



整備前



整備後

重要インフラ保全のための モデル林整備

事業の概要

- ・被災時に市民生活に影響を及ぼすおそれのある公共施設等の周辺森林について、モデル事業として森林整備を実施
- ・森林環境譲与税を活用して整備したことを広く周知するため、PR看板を設置

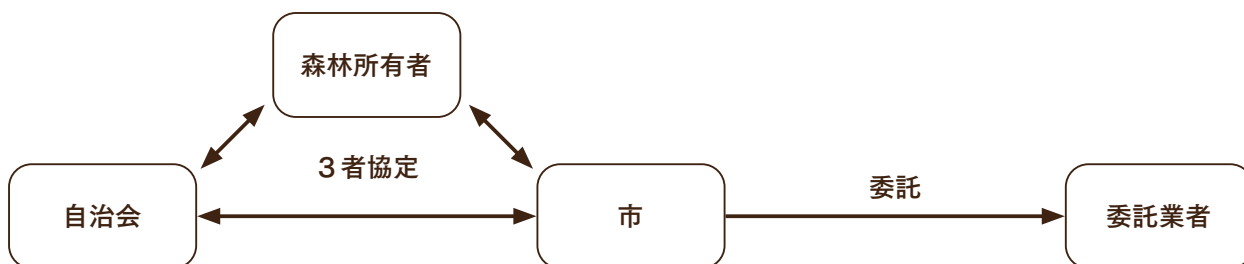
【事業名】 重要インフラ保全モデル林整備事業

【発注形態等】 委託

【事業費】 R 4 3,394 千円 ※全額譲与税

【実績】 R 4 竹林整備 0.19ha 危険木伐採 37 本
広葉樹間伐 0.66ha PR看板 1 基

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・伐採する危険木について、地権者と相違がないよう、伐採前に立会による確認を行った。
- ・整備後の維持管理等が着実に行われるよう、3者協定を締結した。



整備前



整備後

市有林の整備及び搬出材の地域利用

事業の概要

- ・ 森林経営管理制度の着手に先立ち、市有林をモデルに森林整備を実施
- ・ 手入れの行き届かない人工林について、地域の特性に応じた整備を実施
- ・ 地元の訓練校に、搬出した木材を提供

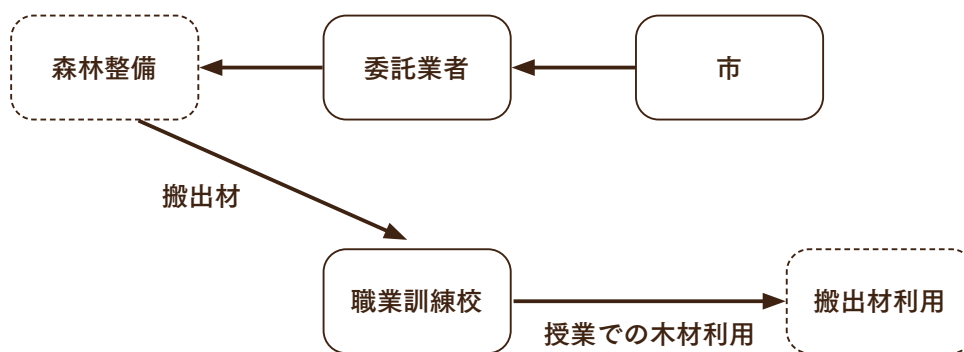
[事業名] 森林環境整備促進事業 森林整備業務

[発注形態等] 委託

[事業費] R 4 9,383 千円 ※全額譲与税

[実績] R 4 森林整備（間伐） 4.48ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・ 土地の土壌等の性質に合わせ、針広混交林化を目指した整備を実施し、丸太筋工の設置で土砂災害を防止
- ・ 地元住民にも整備の成果を一目で感じてもらえるように、下刈り・枝打ち等も実施



整備前



整備後

松くい虫防除のための 薬剤散布等の実施

事業の概要

- ・町内全域の海岸沿いに存在するクロマツ、アカマツ林の保全が急務であることから定期的に実施
- ・地上散布及び伐倒駆除が適正な時期に実施できるよう、年間スケジュールを明確にしながら発注

【事業名】 松くい虫等防除事業

【発注形態等】 委託

【事業費】 R 4 8,716 千円 ※うち譲与税 5,550 千円

【実績】 R 4 薬剤地上散布 8.0ha × 3回
伐倒駆除 伐採 73㎡、他各所特殊伐採

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・町の観光資源であるマツ林の保全を行うことで税の使途について町民の理解を得ている。
- ・伐倒駆除について、被害状況の調査をしたうえで、その結果を踏まえ速やかに対策を講じている。



伐倒駆除



地上散布

松くい虫被害防止のための 樹幹注入等の実施

事業の概要

- 観光資源である海岸沿いのマツを松くい虫から守るため、防除薬剤の地上散布及び樹幹注入、被害木の伐倒駆除等を実施

【事業名】 森林病虫害等対策事業

【発注形態等】 委託

【事業費】 R 4 6,332 千円 ※うち譲与税 6,244 千円

【実績】 R 4 地上散布 11.7ha 伐倒駆除 1本

樹幹注入 370本

事業スキーム

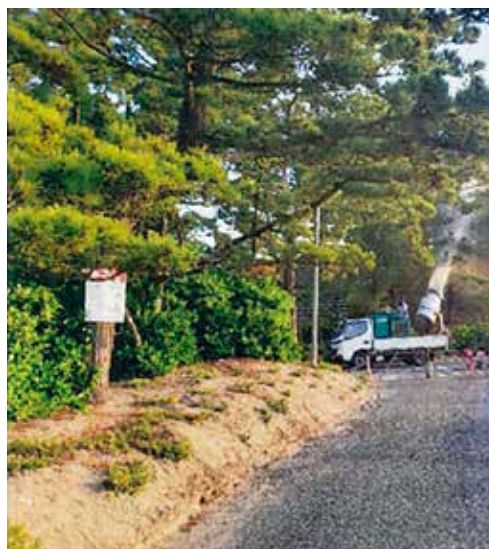


工夫・留意した点

- 高度公益機能森林を中心としたマツ林への防除薬剤の地上散布並びに樹幹注入等を実施している。



地上散布①



地上散布②

森林整備の促進のための 意向調査の実施

事業の概要

- ・ 森林簿上の所有者にアンケート調査を実施し、森林整備の意向を調査
- ・ これまでに実施した事前調査の結果をもとに、現地調査を実施し、整備手法を検討
- ・ 森林整備のための重機等の搬入経路沿線の森林所有者に対して、支障木や倒木の伐採について意向を調査
- ・ 今後、調査結果を踏まえて、地域の林業経営体等への橋渡しを行う予定

【事業名】 森林整備の促進のための意向調査の実施

【発注形態等】 委託

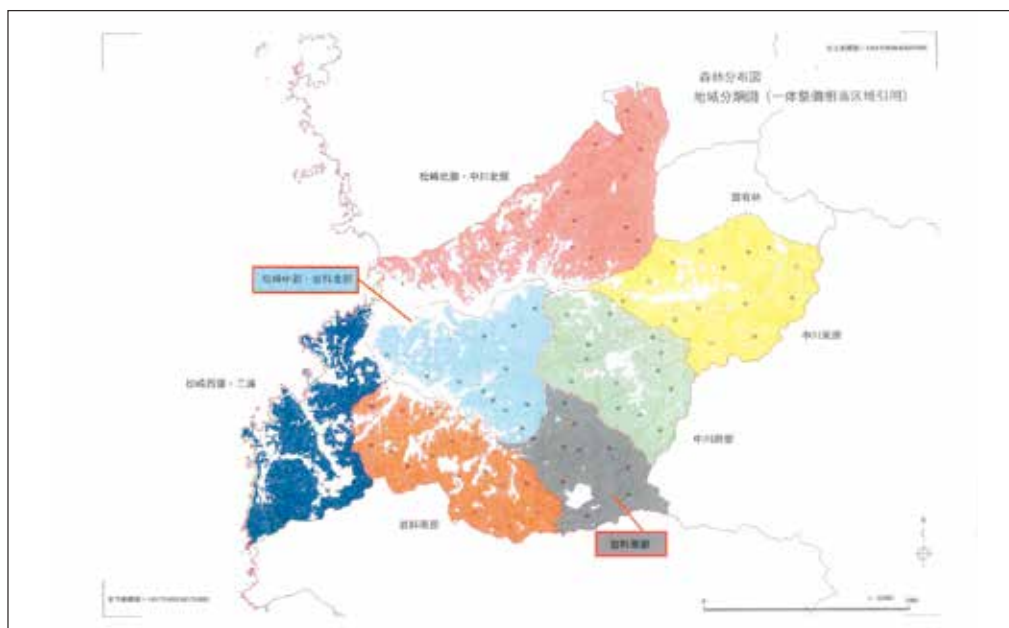
【事業費】 R 4 7,722 千円 ※全額譲与税

【実績】 R 4

- (1) 業務範囲：松崎町中部・岩科北側・東部
意向調査面積：405ha 調査対象者数：263 人
- (2) 業務範囲：松崎町大字池代の一部地区
現地調査面積：20ha
- (3) 業務範囲：江奈門野線沿線
事業量：58 筆／22 名／道路延長 1,000m（約 1ha）

工夫・留意した点

- ・ 経営管理の委託を希望する所有者に対し、個別に制度説明を行ったことで、制度への関心や理解が深まり、その後の現地調査を円滑に進めることができた。
- ・ 正確な所有者情報の把握のため、固定資産課税台帳により情報を整理した。



町内の森林を7地域に区分して取組を実施中

森林経営管理制度に基づく意向調査

事業の概要

- ・森林経営管理法の施行に伴い、森林所有者個々の森林経営管理状況を把握するため、令和元年度に町内を6つの地域に分けし全体計画を策定、令和2年度から順次意向調査を実施
- ・「ふじのくに森林整備アドバイザー」を活用し、森林整備を行う候補地の選定、経営管理権集積計画等の準備を進めており、令和5年度の私有林森林整備の実施に向けた準備を実施

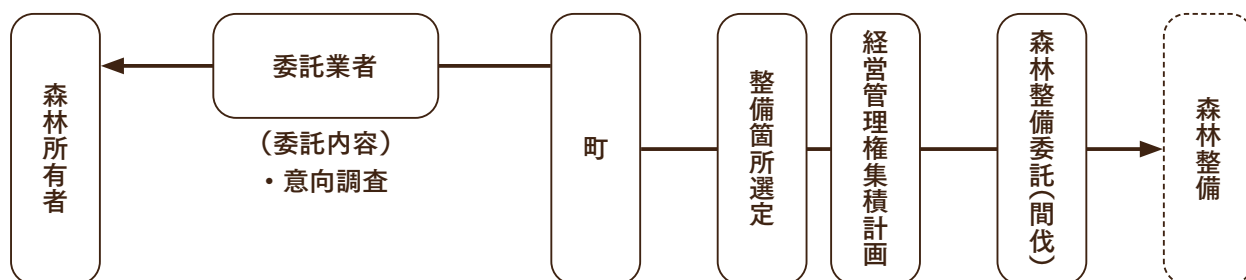
【事業名】 森林経営管理制度に基づく事前調査・森林経営管理事業

【発注形態等】 委託

【事業費】 R 4 4,620 千円 ※全額譲与税

【実績】 R 4 意向調査 368ha 所有者説明会の開催 4回

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・町内を6つの地域に分けし、優先順位を明確にしたうえで、毎年度計画的に意向調査を実施
- ・森林整備候補地の選定において、ふじのくに森林整備アドバイザーを活用し、災害リスクの高い箇所を選定



森林所有者向け説明会



ふじのくに森林整備アドバイザー支援の活用

林道における災害未然防止対策事業

事業の概要

- ・ 森林整備に必要な林道の防災点検により災害危険箇所を把握することで、防災計画を作成
- ・ 林道の災害未然防止のため落石多発箇所へ落石防止網・落石防護柵を設置

〔事業名〕 函南町林道災害未然防止対策事業

〔発注形態等〕 委託・工事

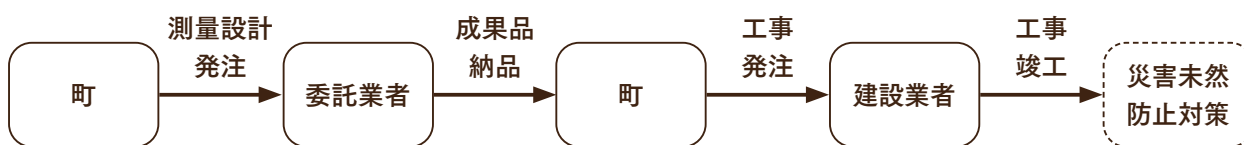
〔事業費〕 R4 2,728千円 ※全額譲与税

R3 4,620千円 ※全額譲与税

〔実績〕 R4 林道箱根山線落石防護柵設置工事 L=11.0m

R3 林道箱根山線測量設計業務委託

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・ 林道の防災計画により、優先順位を明確にした林道における災害未然防止対策事業を実施



施工前



施工中（R6完成予定）

町有林管理モデル事業

事業の概要

- ・町内の森林率は約10%と小規模であることから、まずは町民の森林整備への理解促進を図ることを目的としている。
- ・森林整備の効果を町民に実感していただくとともに、所有者自らの整備を促進するため、モデル的に町有林の整備を実施

【事業名】 清水町町有林管理事業

【発注形態等】 委託

【事業費】 R4 1,709千円 ※うち譲与税 964千円

【実績】 R4 除伐 0.6ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・モデル事業として公道に接する町有林を整備することで、人目につきやすく、譲与税の活用による整備効果をPRすることができた。



整備前



整備後

避難路に隣接する森林における 市町村森林経営管理事業

事業の概要

- ・町の防災計画に基づき、インフラ保全を目的とした森林整備を進めていく方針
- ・R 2に全体計画、R 3に意向調査、R 4に経営管理権の設定及び森林整備を実施

〔事業名〕 令和4年度下長窪・上長窪地内支障木伐採等業務

〔発注形態等〕 委託

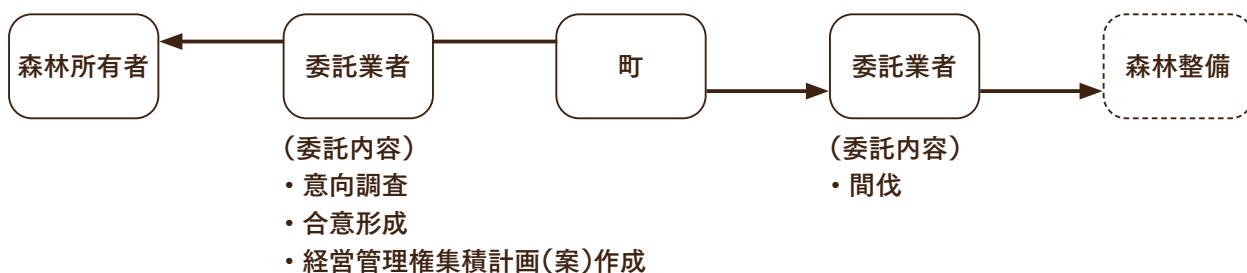
〔事業費〕 R 4 1,727千円 ※全額譲与税

〔実績〕 R 4 経営管理権の設定 1.76ha

市町村森林経営管理事業（支障木伐採）1.76ha

R 3参考 意向調査 4.87ha

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・優先順位の決定にあたっては長泉町防災計画に記載された避難路、広域避難場所や救護所の周辺森林を対象とし、このうち令和4年度は避難路に隣接する森林整備を実施した。



整備前



整備後

防災機能向上のための 市町村森林経営管理事業

事業の概要

- ・平成22年の台風被害を契機に森林の防災機能への認識が高まっていることから、森林経営管理制度による意向調査を行い、森林整備に繋げる。
- ・これまで手入れの行き届かなかった個人所有の小規模な森林の整備が着実に進んでいる。

[事業名] 森林経営管理事業

[発注形態等] 委託

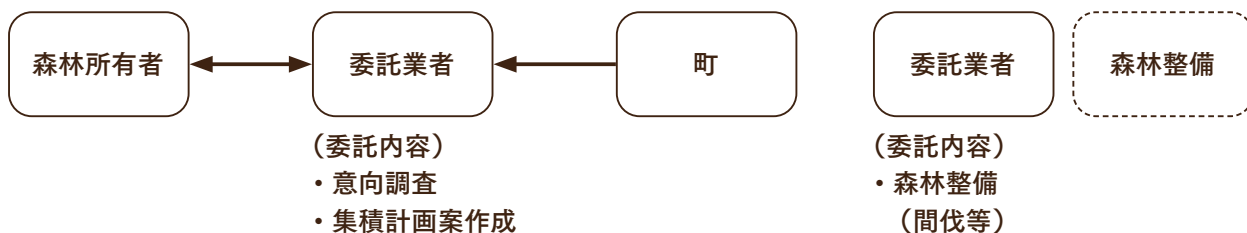
[事業費] R4 13,200千円 ※全額譲与税

[実績] R4 意向調査 約340ha 経営管理権の設定 3.77ha

森林経営管理事業（間伐）1ha

レーザ計測による立木調査等業務 約160ha 等

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・意向調査の対象とした約1,100haを5地区に区分けし、計画的に意向調査を実施
- ・意向調査から集積計画案の作成までを外部に委託することでマンパワーの不足を解消



意向調査説明会



整備後の森林

海岸防災林における森林整備

事業の概要

- ・海岸防災林における公益的機能の維持管理を行うため、マツ・その他広葉樹の枝打ち・伐倒を実施

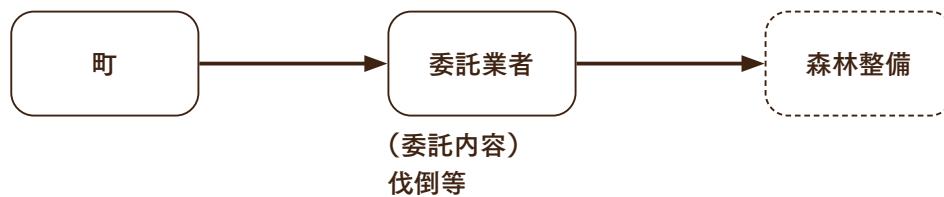
[事業名] 保安林等支障木伐倒等整備業務委託

[発注形態等] 委託

[事業費] R3 1,119千円 ※全額譲与税

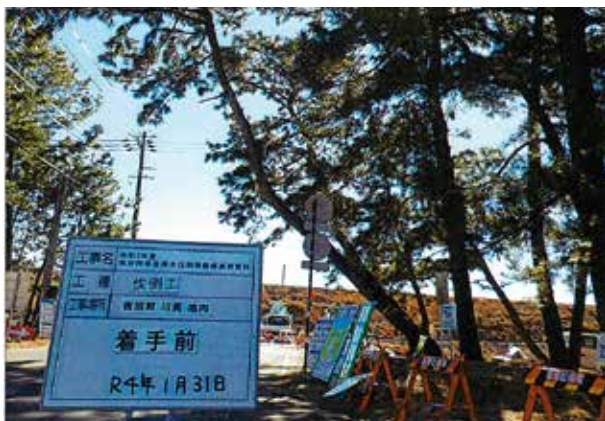
[実績] R3 枝打ち 12本
伐倒 6本

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・整備の方向性については、事前に「ふじのくに森林整備アドバイザー」に現地確認等を依頼したうえで決定した。
- ・マツや広葉樹等が過密となっている箇所、電線や居住地等の町民の生活に影響を与えるおそれのある箇所を優先的に実施した。



整備前



整備後

森林経営管理制度に基づく 市町村森林経営管理事業

事業の概要

- ・森林が有する公益的機能の維持増進が求められる区域について、森林所有者による森林施業が困難な森林を中心に森林経営管理制度に基づく森林整備を進める。
- ・対象森林は、水道水源地及びその周辺の森林とした。

〔事業名〕 川根本町森林経営管理事業

〔発注形態等〕 委託

〔事業費〕 R 4 33,000 千円

本川根簡易水道水源地林間伐業務 15,400 千円

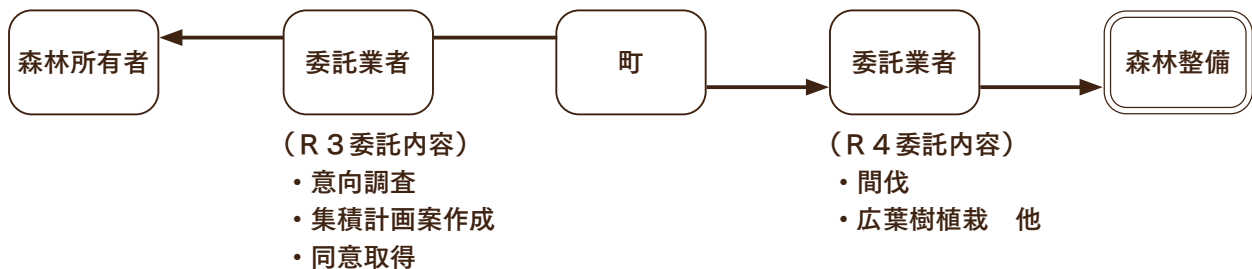
向井飲料水供給施設水源地林間伐業務 17,600 千円

※全額譲与税

〔実績〕 R 4 間伐 45.79ha 広葉樹植栽 100 本

R 3 意向調査、集積計画案の作成等

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・公益的機能の維持増進を図る目的として、住民生活に関心の深い水道水源地周辺の森林を対象とし、住民の制度に対する理解を高めた。
- ・針広混交林化を促進するため、母樹となる広葉樹の植栽を行った。また、植栽木の保護のため、ツリーシェルターを設置した。



間伐実施後



植栽木の保護

林道等の災害復旧

事業の概要

- 令和4年9月の台風15号災害から早期復旧を図るため、令和4年度に森林整備を予定している施業地に接続する林道等について、応急復旧を実施

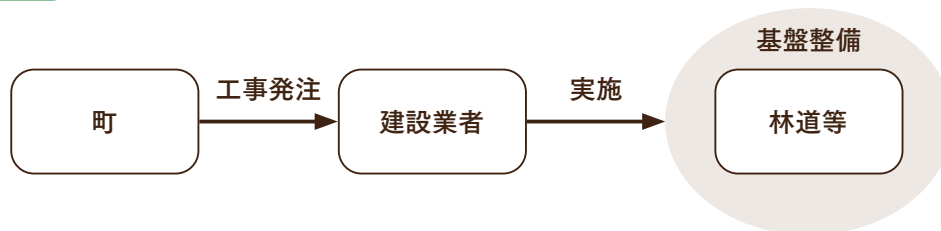
[事業名] 林道災害復旧事業

[発注形態等] 委託

[事業費] R4 57,800千円 ※うち譲与税 4,919千円

[実績] R4 3路線の路面整備等

事業スキーム



工夫・留意した点

- 国の林道災害復旧事業と起債措置とのすみわけを整理して実施



施工前



施工後

森林環境譲与税関連事業に係る専門員の雇用

事業の概要

- ・森林環境譲与税関連事業を進めるための人材の確保が課題
- ・森林経営管理制度に係る業務などを担う専門員を雇用

[事業名] 森林環境譲与税活用事業

[発注形態等] 雇用

[事業費] R4 1,833千円 ※全額譲与税
R3 1,689千円 ※全額譲与税

- [業務内容]
- ・森林所有者意向調査業務（庁内打ち合わせ、地元説明会補助）
 - ・森林経営管理推進協議会（事務局補助）
 - ・森林環境譲与税活用事業全般（事務処理）

事業スキーム

正職員

- ・森林経営管理制度
- ・譲与税活用事業発注
- ・協議会事務局

専門員

- ・森林経営管理制度
- ・協議会事務局補助
- ・譲与税活用事業諸事務

工夫・留意した点

- ・森林経営管理制度の実施に向けたスケジュール作成補助や、森林環境譲与税を活用した各種事業における事務処理を専門員が担当することで、正規職員の事務負担軽減化を図ることができた。



森林所有者意向調査地元説明会（R4）



森林経営管理推進協議会（R4）

地元間伐材（SGEC 認証材）の活用促進

事業の概要

- ・地元間伐材（SGEC 認証材）の活用を促進するため、木材の地産地消、SGEC 森林認証の普及啓発を図った。
- ・森林保育・木材利用の担い手となる小学生を対象とし、森林・地域産材への愛着を深めた。

〔事業名〕 沼津市立沢田小学校5年生教室児童用ロッカー導入業務委託

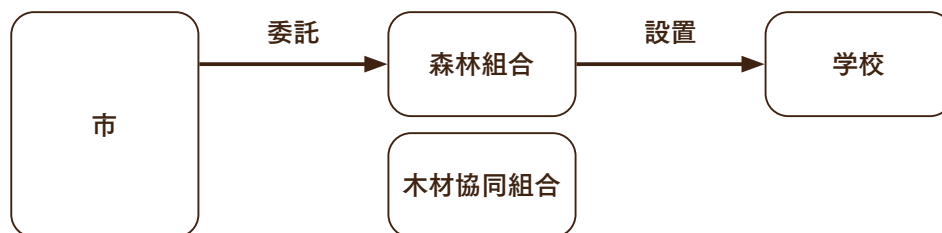
〔発注形態等〕 委託

〔事業費〕 R 4 1,262 千円 ※全額譲与税

〔実績〕 R 4 地域産材使用量 1 m³

児童用ロッカー3台・ゴミ箱入れ1台、清掃用具入れ1台の作成

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・環境教育の一環として、植林から伐採、制作、設置までを見せることで、「自然の大切さ」「生物多様性」、サプライチェーンを支える役割の中で地域における「つながり」を伝えられるよう意識した。



木製児童用ロッカー



環境教育パネル

学校周辺の森林整備の搬出材を利用したベンチの製作

事業の概要

- ・令和2年度から森林整備のモデル事業として、学校周辺における森林の整備を実施
- ・森林整備で搬出した木材を使用した丸太ベンチを製作し、市内の観光施設等に設置

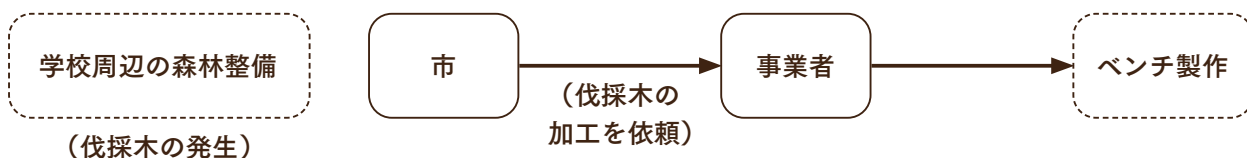
[事業名] 椅子製作事業

[事業費] R 4 693 千円 ※全額譲与税

[実績] R 4 ベンチ 11 基

設置内訳：藤の広場 6 基
 小室山ゲートボール場 2 基
 大室山さくらの里 3 基

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・観光施設や市内の公園に設置したことにより、観光客や地元住民の森林整備や木材利用に対する関心を深めることができた。
- ・学校周辺における森林整備を実施したことにより、周辺地域の見通しが改善された。



学校周辺の森林整備後の状況



搬出材を活用したベンチの設置（小室山ゲートボール場）

公共施設の木質化

事業の概要

- ・市民が多く集まる公共施設である、おもちゃと遊びの体験型美術館「ターントクルこども館」の大型木製遊具等に県産材を活用
- ・令和4年度は、市内の森林整備で発生した間伐材を当施設の木育用工作材料としても活用

〔事業名〕 公共施設（子育て支援施設）遊具の木質化事業

〔発注形態等〕 委託

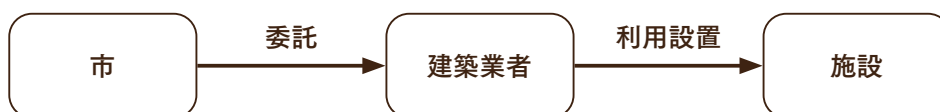
〔事業費〕 R4 167千円 ※全額譲与税

R3 15,000千円 ※全額譲与税

〔実績〕 R4 木育用工作材料 0.2㎡

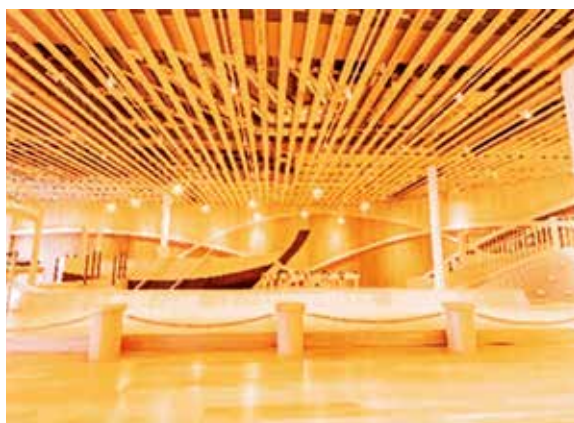
R3 県産材使用量 16.4㎡ ※事業費相当分

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・子どもから大人まで幅広い世代が楽しめる体験型美術館に木材を利用することで、波及効果を高めた。
- ・施設のホームページで木材利用のPRも行った。



ターントクルこども館内での木材活用



木育用工作材料

子育て支援施設の木質化

事業の概要

- ・令和4年11月にオープンした子育て支援施設「かわづっこひろば」の建設にあたり、施設内装を県産材で木質化
- ・県産材を活用したことにより、森林整備の促進にも寄与

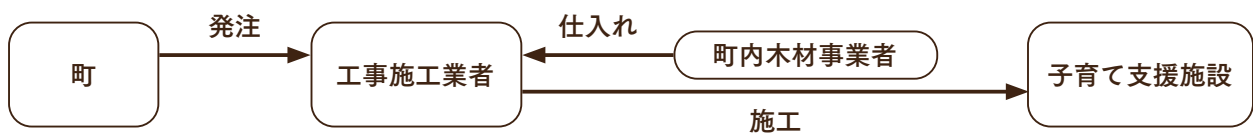
【事業名】 河津町子育て支援施設建設工事

【事業費】 R4 425,900千円 ※うち譲与税 7,280千円

【実績】 R4 42㎡

使用箇所 内装壁面材、床材

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・内装について、壁は子どもの目線の高さを超える部分までを木質化した。
- ・木材を多く使用することで、“木のぬくもり”“あたたかさ”が感じられるようにした。
- ・施設に合わせて、遊具も木製で高品質のものを採用した。



施設外観



内装



県産材使用箇所

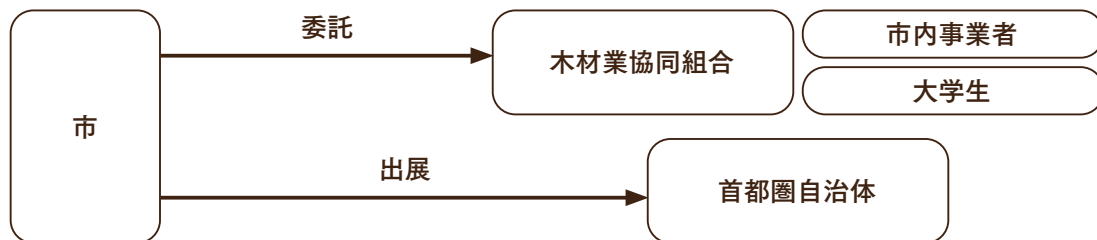
オクシズ材（静岡市産材）の活用促進

事業の概要

- ・オクシズ材の活用を促進するため、オクシズ材製品の開発や、首都圏イベントへ出展し、PR活動を実施
- ・木育製品の開発にあっては、市内の事業者や大学生と連携

[事業名] 地域材活用促進事業
 [発注形態等] 委託・一部直営（出展関係）
 [事業費] R4 6,138千円 ※全額譲与税
 [実績] R4 オクシズ材製品開発1種
 首都圏イベント等（川崎市など）への出展

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・木育製品の開発においては大学生からの提案を活用し、産官学民での連携を図った。
- ・首都圏の自治体に対し、製品の貸出やDMの送付を実施する等、積極的に連携を図った。



開発製品とイベント出展（川崎市）



オクシズ材PR拠点（木育）

富士ヒノキ製玩具の贈呈

事業の概要

- ・富士市6カ月児すくすく赤ちゃん講座受講者へ富士市の地域材である「富士ヒノキ」製の玩具を贈呈
- ・幼い頃から木のぬくもりや質感を感じながら、心豊かに成長してもらうことを願うとともに、保護者に、木材の良さを考えてもらい、今後、様々な場面で木材を選択するきっかけづくりに期待

【事業名】 富士ヒノキ製玩具贈呈事業

【発注形態等】 委託・一部直営（贈呈事務等）

【事業費】 R4 3,241千円 ※全額譲与税

【実績】 R4 乳児1,600人に「かむかむヒノキ（歯固め）」を贈呈

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・委託発注にあたり、乳児向けの玩具として適している製品の提案を行った木工業者の中からプロポーザル方式で選定した。
- ・市の地域保健課と連携し、富士市6カ月児すくすく赤ちゃん講座受講者に玩具を贈呈することで効率的かつ効果的に、乳児に行き渡るよう工夫した。
- ・当事業がウッドデザイン賞2021（普及啓発（システム）のソーシャルデザイン部門）を受賞した。



R4玩具「かむかむヒノキ」（歯固め）



審査委員会の様子（R4）

おかえり「森林」総合対策事業 (森林・木材を学ぶ事業)

事業の概要

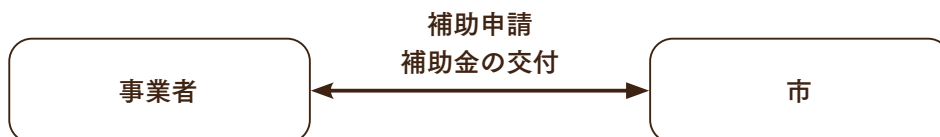
- ・森林整備について理解を深める普及啓発活動としての体験学習、現地研修会、講習会、森林教室等を行う事業を実施する者に対し事業費の一部を補助

[事業名] おかえり「森林」総合対策事業
(森林・木材を学ぶ事業)

[発注形態等] 補助(1/2以内、限度額300千円)

[実績] R4 全体4件 828千円 ※全額譲与税
木工教室2件 環境教育1件 現地研修1件

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・意欲ある事業者が広く参加できるようにPRに努めた。
- ・事業者に対し、交付決定通知書の文面に事業PR努力を明示



体験学習（秘密基地づくり）



現地研修会



木工教室

勝間田城跡周辺の森林を整備

事業の概要

- ・勝間田城跡周辺の市有林（1.3ha）を整備し、市域における森林整備の促進と地域住民へ森林の機能等を周知するため、森林環境譲与税を財源に複数年でのモデル事業を実施

〔事業名〕 勝間田城跡周辺森林整備事業

〔発注形態等〕 委託・工事

〔事業費〕 勝間田城跡周辺森林整備工事（R4：6,908千円 R3：4,764千円）
 勝間田城跡周辺森林整備設計業務委託（R4：495千円 R3：264千円）
 ※全額譲与税

〔実績〕 R4 0.17ha R3 0.37ha

〔その他〕 森林環境教室の開催 R4：3回 R3：3回

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・市内の小学6年生を対象として、森林整備の経過段階を見せながら、森林の機能、役割や成り立ちなどについて学ぶ「森林環境教室」を定期開催している。



森林環境教育指導員による説明



フィールドワーク（森林観察）

ふじのくに森林整備
アドバイザーの派遣

事業の概要

- ・森林環境譲与税及び森林経営管理制度を活用した市町主体の森林整備を進めていくにあたり、市町職員のマンパワー不足や経験不足を解消する必要がある。
- ・このため、高い専門性を備えた「ふじのくに森林整備アドバイザー」を市町に派遣し、森林整備の取組等が円滑に進むよう支援

【事業名】 森林整備実施体制支援事業

市町からの支援要請に応じて、令和4年度は以下の支援等を実施

- ・市町の森林整備の方針や整備内容についての検討に対して助言
- ・森林経営管理制度の円滑な実施に向けた、市町担当者向け「森林経営管理制度の簡易マニュアル」を作成、支援時に活用
- ・経営管理意向調査における森林所有者への説明会に同席し、所有者の相談に対応

【発注形態等】 委託

【事業費】 R4 19,712千円 ※全額譲与税

【実績】 R4 283回派遣

工夫・留意した点

- ・市町は無料で何度でも支援要請を行うことが可能
- ・様々な課題に対応するため、多様なアドバイザーを登録（令和4年度末時点：39名）
- ・1日単位、定期支援など市町のニーズに応じた支援が可能
- ・令和4年度、新たな取組として、県とアドバイザーが協力して市町事務担当者向けに簡易マニュアルを作成、市町に配布して活用

取組の効果

- ・これまでに県内35市町のうち25市町が森林経営管理制度の取組を開始した。
- ・令和4年度は新たな取組として、県が3次元点群データを解析した結果を市町に提供、森林所有者説明会で活用したことで、よりわかりやすい意向調査を実施することができた（県内6市町）。



3次元点群データを活用した意向調査の実施



森林整備の実施に向けた現地支援

林業の担い手の確保・育成

事業の概要

- ・今後、森林環境譲与税の活用により、市町が行う森林整備事業が増加することから、新規就業者や森林技術者を広域的に確保・育成し、市町が地域の実情に応じた森林整備を実施できる体制づくりを支援
- ・令和4年度は、新規就業者の確保のため、林業への就業希望者等を対象に、就業相談会の開催や就業後のミスマッチ解消に向けたインターンシップ等を実施
- ・森林技術者を育成するため、ICTやドローン等の先端技術の活用研修や森林技術者研修を実施

〔事業名〕 ビジネス林業等担い手確保育成事業

〔発注形態等〕 委託

〔事業費〕 R4 71,725千円 ※全額譲与税

〔実績〕 ・林業就業支援サイト「森林（もり）ナビ」の運営

- ・林業の魅力発信（高校での出前講座等8校211人）
- ・就業相談会の開催（3回190人）、現場見学会の開催（3回26人）
- ・インターンシップの実施（13人）、就業前研修の開催（2回16人）
- ・安全装備等購入費支援（32人）、LINEによる就業相談（12人）
- ・森林技術者研修（13人）、指導者養成研修（8人）
- ・ICT等の新技術活用研修（7回151人）
- ・組織力向上研修（8経営体）、林業経営コンサルティング（18経営体）

工夫・留意した点

- ・就業希望者が情報収集しやすいように情報を一元管理したHPを運営
- ・ICT等の各種新技術について、先進的な経営体から講師の派遣を依頼し、活用方法について講義を実施



就業相談会



新技術活用研修



森林技術者研修

森林環境教育の推進

事業の概要

- ・市町が森林環境譲与税を活用した森林環境教育に取り組むためには、企画及び運営を依頼できる人材や団体による支援が必要
- ・活動の中心となる森林環境教育指導者や森づくり団体の育成、スキルアップ及び安全管理技術の向上等を行い、市町の円滑な森林環境教育の実施を支援

【事業名】 森林環境教育推進支援事業

【発注形態等】 委託

【事業費】 R 4 6,617 千円 ※全額譲与税

- 【実績】
- ・プログラムの企画・実施や安全管理にかかる基礎知識を習得する指導者養成講座を13回実施し、延べ59人が受講
 - ・活動している指導者の技術力向上を図る実践研修を22回開催し、延べ26人が受講
 - ・森づくり団体に対し、安全管理講座を3回実施し、6団体26人が受講
 - ・「森林環境教育指導者人材バンク」に83人が登録（東部32人、中部32人、西部19人）

工夫・留意した点

- ・地域に密着した指導者を養成するため、年度ごとに場所を変えて講座を開催した。
- ・基礎知識を習得するための養成講座だけでなく、活動している指導者の実践研修を開催し、技術力の向上を図った。
- ・各団体に合わせた安全管理マニュアルの作成を指導した。
- ・「森林環境教育指導者人材バンク」をHPで公開し、市町の活用を促進した。



指導者養成講座



指導者の実践研修

森林環境税と森林づくり県民税

県と市町が役割分担して森林整備を進めています

森林は県土の3分の2を占め、広大な面積を有していることから、県と市町は「森林づくり県民税」と「森林環境税」の2つの税の用途や役割分担を明確にし、車の両輪となり、協力・連携して森林整備に取り組んでいます。

県
財源: 森林づくり県民税(県税)
課税額: 個人 400円/年 法人 1,000円~40,000円/年 (法人税均等割の税率に5%上乗せ)
用途: 荒廃森林の再生(森の力再生事業) ・公益性、困難性が高く、緊急に整備すべき荒廃森林の整備

協力・連携



役割分担

市町
財源: 森林環境税(国税)
課税額: 令和6年度から課税 個人 1,000円/年
用途: 地域の実情に応じた取組 ・森林経営管理制度に基づく森林整備 ・公共施設等における地域の木材の利用等

※市町が森林所有者から森林の経営管理の委託を受け、林業経営者への再委託や市町自らが管理を行う制度

森林の持つ「森の力」

静岡県は県土の3分の2が森林です。森林には「山崩れの防止」や「水を蓄える」などの様々な公益的機能(「森の力」と呼んでいます。)があり、その恩恵は県民に広く及ぶ共有財産です。

山崩れ・土砂災害の防止



樹木や地表を覆う落ち葉・下草は、雨による土砂の流出や崩壊を防いでいます。

洪水や濁水の緩和



森林の土壌は、スポンジのようになっていて、雨水を蓄えて時間をかけ川に流します。

いま、森林で起きていること

森林は間伐など適切な手入れを行うことで健全な状態が保たれます。しかし、現在、地形が急峻等の理由により、森林所有者による整備が困難なために荒廃した森林が見られ、そのような森林では、大切な「森の力」が十分発揮されません。

手入れが遅れた人工林



手入れが遅れ暗くなり、下草がない状態

災害にあった森林



台風により被害を受けた状態

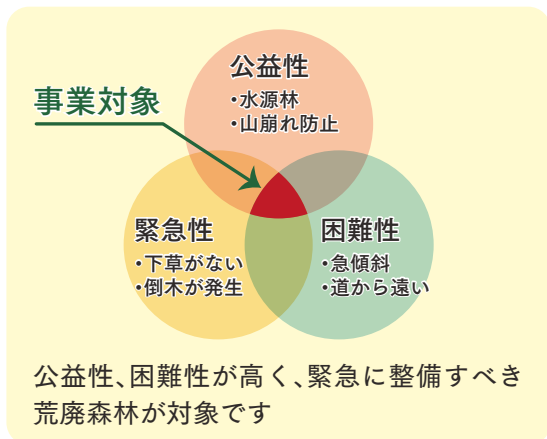
放置された竹林



災害の危険が高く、景観も悪化している状態

「森林づくり県民税」により、荒廃森林の再生を進めています

静岡県では、平成18年度から「森林づくり県民税」を県民のみなさまにご負担いただき、「森の力再生事業」による荒廃した森林の再生を進めています。



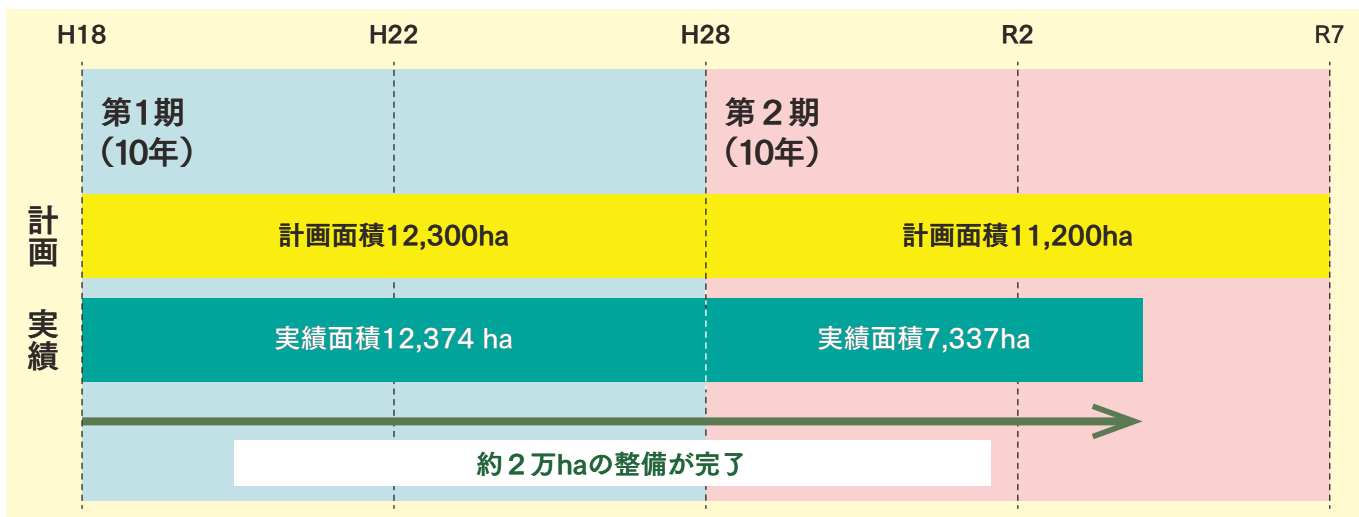
荒廃森林の再生



間伐して地面に光を当てたので、草や木々が芽生えました

森の力再生事業による荒廃森林の整備状況

森の力再生事業による荒廃森林の整備は計画通り進んでいます。令和4年度末までに、約2万ha(浜名湖約3個分の面積)の整備が完了しました。



森の力再生事業の成果

整備を行った森林では、林内に光が差し、下草が生え、着実に「森の力」が回復しています。また、県内各地で「森の力」を実感できるイベントを開催しています。



整備後、「森の力」が回復



森の力体験ツアー(伊豆の国市長瀬)



編集・発行

静岡県経済産業部森林・林業局森林計画課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
TEL.054-221-2613 / FAX.054-221-2829

公益社団法人 静岡県山林協会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 県庁西館9階
TEL.054-255-4488 / FAX.054-255-4489

令和5年8月発行